

やまなしエネルギー 地産地消推進戦略



省エネ
ルギー

クリーン
エネルギー

やまなしエネルギー地産地消推進戦略 ～「エネルギーの地産地消」実現に向けたロードマップ～

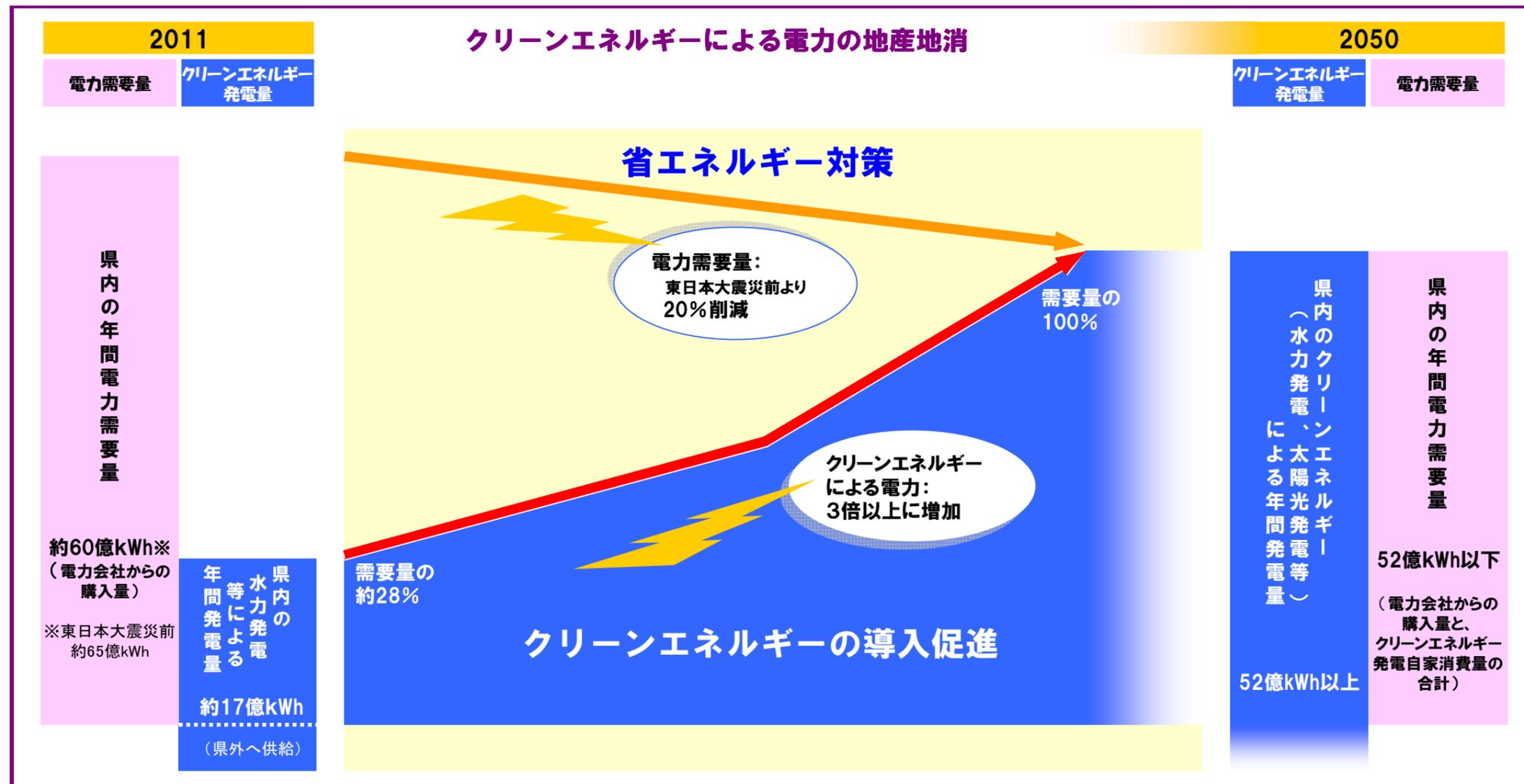
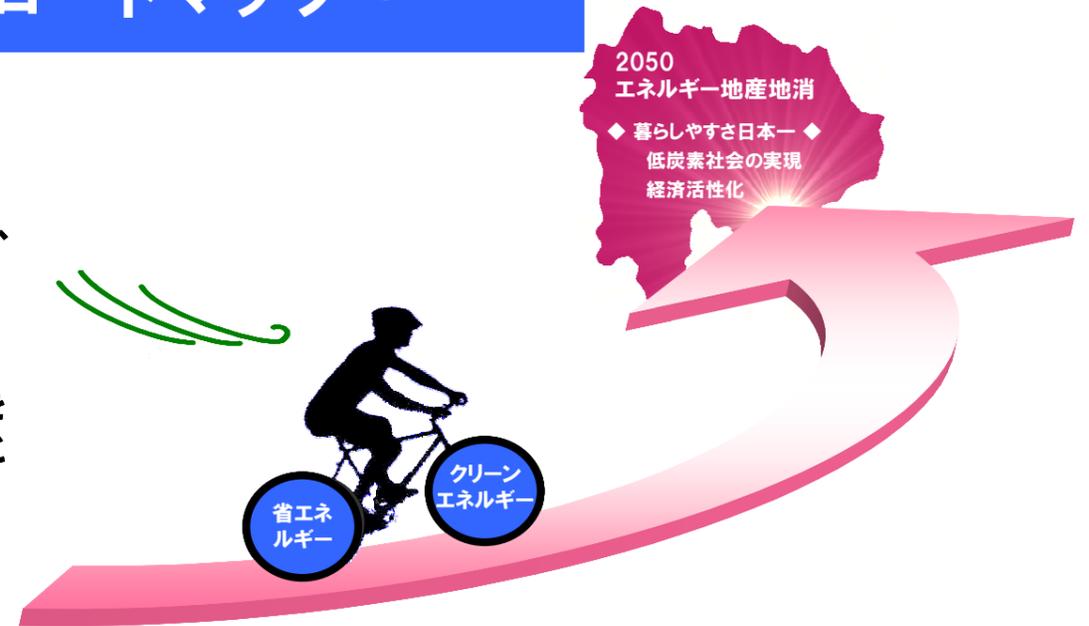
平成25年4月

1 ロードマップ策定の趣旨

山梨県は、これまで「やまなしグリーンニューディール計画」により、4つのクリーンエネルギー（太陽光発電、小水力発電、バイオマス、燃料電池）の導入を促進してきました。また、東日本大震災後の電力不足に対応するため、県民運動として節電を実施してきました。

この成果を踏まえながら、概ね2050年ごろまでに、クリーンエネルギーの導入促進と省エネルギー対策を両輪に、県内の消費電力全てをクリーンエネルギー発電で賄う「エネルギーの地産地消」の実現を目指すこととします。

このロードマップは、県民、事業者、市町村、県が一丸となってエネルギーの地産地消の実現に向けて取り組むための、短期、中期、長期の目標や施策の方向などを示したものです。



クリーンエネルギー等による熱利用の促進

2 「エネルギーの地産地消」実現の姿

エネルギーの地産地消を着実に推進していくためには、「やまなしグリーンニューディール計画」に掲げた4つのクリーンエネルギーの導入促進を一層加速させることが必要です。また、エネルギーの需要を減らすためには、ピークカットを主体としたがまんの節電から、スマートな省エネルギーに転換していくことが求められます。さらに、これらに加え、エネルギー地産地消型社会の構築に向けた総合的な取り組みも必要です。

クリーンエネルギー導入促進の加速と省エネルギー対策の推進



環境と調和した「エネルギー地産地消型社会」の構築に向けて
 ○様々なクリーンエネルギーにより、地域や建物単位での電力の自給自足が可能なまちづくり

発電、蓄電、
コージェネレーション、スマートグリッド等実証実験への企業

地域、家庭、
事業所への
新技術の導入

情報発信

県内企業による新技術の開発や普及

省エネによる企業の経営改善とさらなる省エネ対策

事業所の設備投資や住宅への設備導入による県内経済の活性化

2050年

やまなしの姿

*誰もがクリーンエネルギーを創る

- ・戸建て住宅の半数と全ての事業所、公共施設に**太陽光発電**設置
- ・**小水力発電**開発可能地点全てに発電所設置
- ・**大規模水力発電**の適切な維持運用

など

- ・**エネルギー管理システム**の普及
- ・**クリーンエネルギー蓄電技術**の普及

*誰もが省エネルギーで豊かに暮らす

- ・住宅・建築物の**ゼロエネルギー化**達成、**省エネルギー機器**の普及
- ・**クリーンエネルギー熱利用**の普及(電気を熱として利用することの縮小)
- ・効率的な**省エネルギー行動**の定着

など

エネルギー
地産地消の
実現

エネルギー地産地消型社会のイメージ例



山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター資料

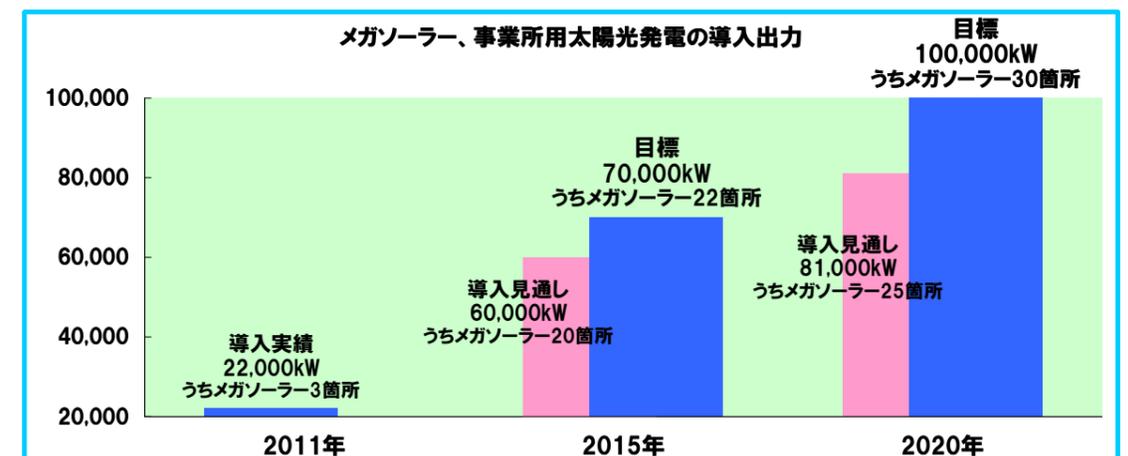
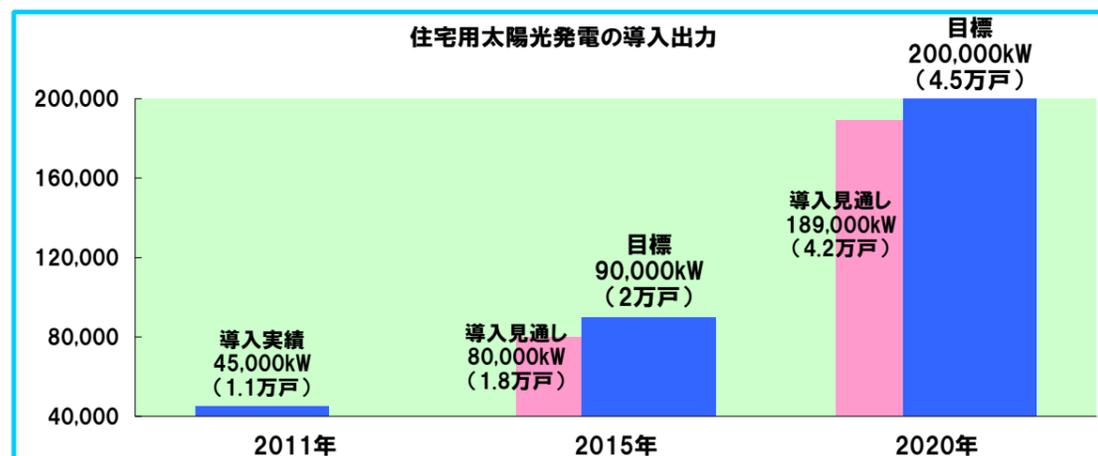
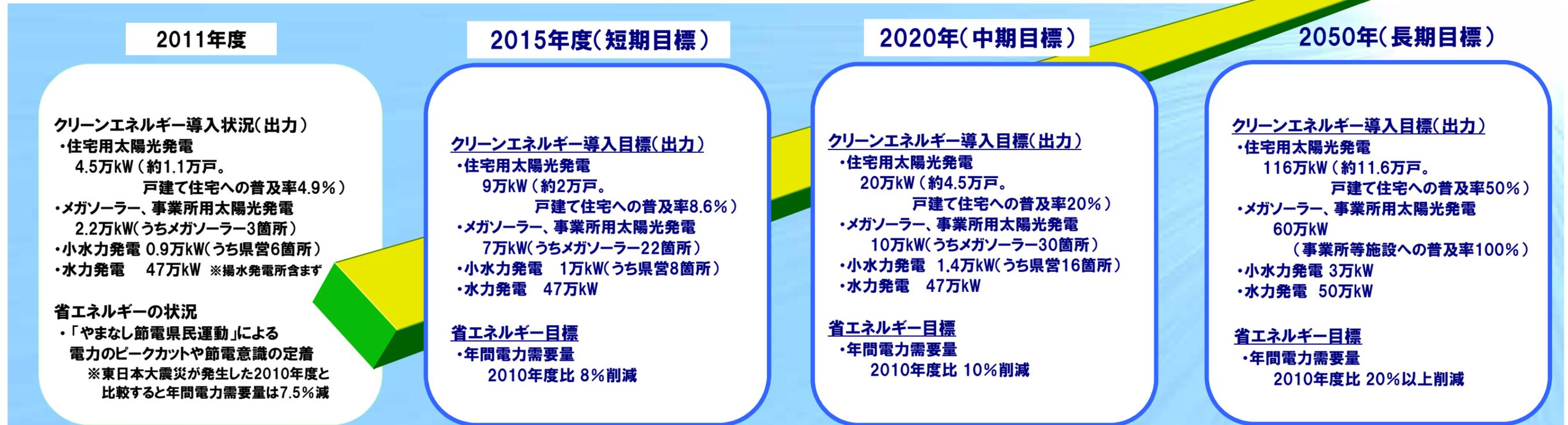


経済産業省資料

3 「エネルギーの地産地消」実現に向けた目標

エネルギーの地産地消の実現に向けて、クリーンエネルギーの導入目標と省エネルギーの目標を定めます。

クリーンエネルギーのうち、日照時間が長く、全国的に優位性のある太陽光発電については、「エネルギー地産地消型社会」構築する上での重要な要素であるため、これまでの導入見通しを上回る目標を掲げます。また、小水力発電については、県が先頭に立って民間等の参入を促すため、県自ら、2013年度から10年間で10箇所程度の開発を進めます。



※ 2015年の導入見通しは最近の導入動向から試算。2020年の導入見通しは、「やまなしグリーンニューディール計画推進指針」の導入見込量による。

4 県の施策の方向

2013 2015 2020 2050

